

当科では、日本における HIV 感染症治療の向上のため、以下の臨床研究を行っています。

■臨床研究 HIV 感染者における STD/STI に関する研究

【研究概要】

■試験名 HIV 感染者における STD/STI に関する研究

■目的

HIV感染症の診療において、梅毒・クラミジア感染症・淋病・尿道炎・精巣上体炎・トリコモナス症・ヒトパピローマウイルス (HPV) 感染症・ウイルス性肝炎などのSTD/STI (Sexually Transmitted Diseases/Infections, 性行為感染症) は合併することが多く注意が必要な疾患です。これらの疾患は症状がはっきりしない場合もあり、通常の検査では見落とされることも多く、また何度も再感染する疾患もあります。治療が遅れた場合は深刻な影響が出ることもあり、早期発見・早期治療が必要です。今回、当科に通院されているHIV感染症の方でSTD/STIの実態や治療とその効果について評価する研究を予定しています。この研究で得られる結果により、STD/STIの早期診断や適切な治療に役立つ情報が得られると考えています。

■研究対象症例

2013年1月より2014年8月の間に東京医科大学病院通院したHIV感染者。症例数は約1,100名。

■研究対象疾患

エイズ指標疾患を対象とし、診療録を参照し、患者背景(年齢・性別・既往歴・入院歴)、臨床症状、治療内容、主要臨床検査結果(血算・生化学・CD4陽性リンパ球数・細菌検査・核酸増幅法など)、臨床経過、画像検査結果について集計し検討する。

■目標研究対象症例数と研究実施期間

目標研究対象症例数： 約1,100例

研究実施期間：倫理委員会承認後より2015年12月31日まで

■研究代表者

村松 崇 (東京医科大学病院 臨床検査医学分野)

■研究事務局

東京医科大学病院 臨床検査医学科

〒160-8402 東京都新宿区西新宿 6-7-1 Tel 03-3342-6111 内線 5086